

## パートナーイベント 第37回 PFF (ぴあフィルムフェスティバル)

名称：第37回 PFF (ぴあフィルムフェスティバル)  
会期：2015年9月12日(土)～24日(木)  
会場：東京国立近代美術館フィルムセンター  
主催：PFFパートナーズ=ぴあ、ホリプロ、日活／(公財)ユニジャパン  
共催：東京国立近代美術館フィルムセンター  
後援：(一社)日本映画製作者連盟/NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／協同組合日本映画監督協会  
対象：一般、映画監督志望者、映画製作・映画配給関係者、映画・映像教育機関関係者  
来場者数：5,500人

### ■内容

#### ●コンペティション部門「PFFアワード2015」

全国から応募されたアマチュアの方々による577作品の中から入選20作品を東京開催中に2回上映し、最終日の表彰式にてグランプリをはじめとした各賞を発表、表彰。

その後、「第28回東京国際映画祭」との提携企画として、グランプリ作品「あるみち」の上映と、監督、出演者による質疑等を実施。また、全入選作品を京都、神戸、名古屋、福岡の4都市で巡回上映し、各地での観客賞の設定や、映画教育機関、上映団体等との連携による映画振興に努めている。

#### ●招待企画

##### ①「特集 サミュエル・フラー～誰もが憧れた奇跡の作家」

スコセッシ、ゴダールが高く評価し、国内での自伝の発刊を控えて再評価の機運が高まるフラー監督の日本未公開2作品を含む7作品を上映。幅広い年代の観客が来場し、幾つかの回で満席となる盛況であった。

##### ②「映画のコツ～こうすればもっと映画が輝く」

映画製作において大きなキーである「美術」と、映画の総合的なリーダーである「プロデューサー」の役割について迫る講座付き上映企画。「美術」では、種田陽平美術監督と、デビュー作以来親交の深い周防正行監督との対談や、後者では伊地知啓プロデューサーと、濱口竜介監督をお招きして、具体的な事例を挙げつつ活発な議論を展開した。

##### ③「映画内映画～映画は映画をつくることをどのように描いてきたか」

映画製作の歓びと苦しみに迫る6作品を上映。代表的な作品として、フランソワ・トリュフォー監督の「アメリカの夜」等に加え、PFFと縁の深い長崎俊一監督、鈴木卓爾監督の最新作をプレミア上映し、観客との質疑も実施。

##### ④「世界が絶賛した日本の短編たち」

カンヌ、ヴェネチア、ベルリン等の世界の映画祭で高い評価を得ている実写、アニメーションを含む短編5作品を上映。